

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人榎の木福祉会そら豆キッズ			
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 1日 ～ 令和 7年 3月 8日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数)	37
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 1日 ～ 令和 7年 3月 8日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学年やお子さんの特性に合わせたクラス運営	年齢や障害等の特性によってクラスの編成を行うことで、個々の発達段階だけでなく、実年齢や次のステージを意識した取り組みを行っているようにしている。	お子さんの成長や新規利用のお子さんの状況等に合わせた編成をし、目的・目標を持って取り組んでいく。
2	クラス全体の状況や子どもの発達段階を意識した工夫	現在の様子だけでなく、将来も見据えたプログラムの提供が行えるよう取り組んでいる。	お子さんの成長や目的/課題を意識し、定期的に、また必要に応じて環境設定の見直しを行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	直接保護者の方とやり取りする機会が十分に取れていない。	送迎時などに話しをすることは意識しているが、面談や電話などしっかりと時間を取って話をする機会が十分に確保できていない。	人員を充足させたり、業務内容の見直しなどを行うことで、時間の確保が行えるようにしていく。また、利用時の様子が分かりやすく伝わるよう、動画なども活用していく。
2	緊急時等の対応が職員間で十分に周知できていない	マニュアルなどの見直しが十分でなく、内容を現在の状況に合わせて変更していく必要がある。また、職員が十分に理解できていない。	事業毎、事業所全体の状況等整理し、定期的に、あるいは必要に応じて、変更・修正が行えるよう見直しを行う時間を作っていく。
3			